



2024年2月14日

各 位

会社名 **株式会社エイチワン**
代表者名 代表取締役社長執行役員 金 田 敦
(コード番号 5989・東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長
太田 清文
(TEL 048-643-0010)

業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期 通期連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	230,000	3,000	2,500	1,900	68.03
今回修正予想 (B)	230,000	△14,000	△15,000	△17,100	△611.39
増減額 (B-A)	—	△17,000	△17,500	△19,000	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	225,511	△9,270	△9,742	△6,993	△249.25

(2) 修正の理由

当社グループの関連する自動車業界では、車載用途半導体の供給制約などが緩和され、世界的に生産回復に進展が見られた一方で、急速な電動車シフトが進む中国自動車市場においては国内新興EV(電気自動車)メーカーの台頭が目覚ましく、日系を含む外資完成車メーカーは販売苦戦を強いられています。当社グループの主力得意先向けの自動車フレーム生産量も日本、北米、アジア大洋州では堅調に推移した一方、中国における主力得意先向けの自動車フレーム生産量は前述の競争激化に伴って減少しており、将来的にも厳しい事業環境の継続が見込まれます。また、北米では生産は堅調ながら、労務費や外注費といった製造コスト上昇の影響が拡大しております。

このような事業環境下、中国における当社の連結子会社3社に係る事業用資産の一部について、収益性の低下などの減損の兆候が認められ、国際財務報告基準(IFRS)に基づき減損テストを実施し、将来キャッシュ・フローによる回収可能性を検討した結果、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、この減少額の151億68百万円を第3四半期連結会計期間において減損損失としてその他の費用に計上いたしました。

こうした状況を業績予想に織り込み、2023年5月15日に公表いたしました通期連結業績予想における、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益をそれぞれ修正いたします。

2. 剰余金の配当

(1) 期末配当予想の修正

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2023年5月15日)	12.00	12.00	24.00
今回修正予想		8.00	20.00
当期実績	12.00		
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	13.00	7.00	20.00

(2) 理由

当社は、今後の事業展開及び設備投資等を勘案した上で、長期にわたり安定的に業績に応じた成果の配分を実施することを配当の基本方針としております。

しかしながら、今回の2024年3月期の連結業績予想の修正を踏まえ、経営環境や利益水準、今後の事業展開等を総合的に勘案し、2024年3月期の期末配当予想につきましては前回予想の1株当たり12円から8円に修正することといたしました。これにより、年間配当予想は1株当たり20円となります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上